

兵 庫 協 会
保 險 医 協 会

明石支部

ニ
ニ
ス



N o. 246
2010・12・15
投稿歓迎!

兵庫県保険医協会明石支部
支部長 吉岡 巖
神戸市中央区海岸通一丁目二番三十一号
神戸フコク生命海岸通ビル五階

TEL 〇七八―三九三―一八〇(代)
FAX 〇七八―三九三―一八〇(二)

今年も1年間多彩な活動

支部では今年も、会員をはじめ医療機関スタッフや市民を対象にさまざまな活動を行った。その一部を振り返る。

支部総会、ぜんそくフェスタ

支部は9月8日、明石市生涯学習センターホールで第27回総会を開催した。総会議事に先立って行った市民公開企画では、協会理事岡芳雄先生が「環境問題で私たちがまず考えなければいけないこと」と題し講演。会場が満員になったぜんそくフェスタで講演する森岡理事(左)



した後、映画「不都合な真実」鑑賞会を行った。会員71人が参加した。森岡理事は講演で、長年ぜんそく治療に携わった経験から、身近なところにも環境問題や公害問題があることを解説。また、「私たちが便利に暮らしている。中国やインドなど経済発展のめざましい国の国民は、私たちのような生活をしたいと必死だ。自分たちが便利な暮らしをしているのに、彼らに環境のために我慢しろとは言えない」と経済と環境の関係を分かりやすく明らかにした。



また、9月23日には、明石市産業交流センターで「子どものぜんそくフェスタ2010 in 明石」を開催した。医学的なコンテンツロールによって、ぜん

経営に役立つ企画も

そく発作はゼロにできることを知ってもらおうと企画したもので、患者さん、家族、医療者ら259人が参加した。講演では、社会福祉法人希望の家付属関東アレルギー研究所長で群馬大学名誉教授の森川昭廣先生が、最新のぜんそく治療について、患者さんにわかりやすく解説するとともに、「ぜんそくは慢性的な疾患であるという認識を持って長期的治療をがんばろう」と参加者を励ました。



支部は3月27日、アスビア明石9階ホールで医科診療報酬改定研究会を開催し、122人が参加した。5月15日には、西明石のし、会員医師・歯科医師やホテルキャスルプラザ職員ら165人が参加した。歯科でも、3月25日に明石会場が満員になった歯科の新店数研

文化活動で診療所ぐるみの交流

バスツアー、納涼バーベキュー

支部では、4月18日、支も石舞台も見られて、とても満足でした。お天気も良かった」などの感想が参加者から寄せられた。また、6医療機関から17人が参加した。「平山都夫さんの絵はすばらしかった。飛鳥寺



医療機関から会員やスタッフら25人が参加した。暑いさなか、明石海峡大橋を眺めながら涼しげなひとときを過ごした。

明石支部では、企画を募集しています。文化行事から臨床研究会まで、お気軽に事務局までご連絡ください。

県協会第 回評議員会

消費税「損税」の解決を

協会は11月14日に協会会議室で、第78回評議員会・臨時(決算)総会ならびに第33回公共制度委員会を開催。評議員など145人が参加し、10年度前半期会務報告と後半期の重点、10年度予算前半期執行実績なら

びに後半期見通しを承認し、診療報酬を病院・診療所とともに引き上げること。子どもと高齢者の窓口負担も医療政策が大きく変わら

を求めるとの決議を採択。またテーマに特別講演した。

発言する辻評議員(上)、記念講演の講師李啓元ハーバード大学助教授(下)



李氏は、医療改悪の根源となつてい

る新自由主義を厳しく批判し、医療制度は富の再分配で実現しなければならぬと強調し

た。李氏は最後に、オバマ政権でメディケア・メディケイド管理庁長官に就任したドナルド・パーウィック医師の「公平かつ文明的かつ人道的な医療費のシステムは、富める人から貧しい人へ、富める人へと富を再配分するシステムでなければならぬ」との言葉をまとめとして紹介した。

講演後の質疑でも活発な意見交換が行われた。

討論では、明石支部からは県協会税務経営部員でもある辻一城評議員が「消費税は、最終消費者が負担する税金だ。しかし、医療費は消費税非課税であるため、医療機関の薬品その他の仕入れにかかる消費税は、最終消費者である患者さんではなく医療機関が負担するという「損税問題」が存在する。

9月に地元兵庫県の4つの医療法人が、医療機関だけが消費税を課税されるのは憲法違反だとして、国を相手に4千万円の損害賠償訴訟を起こした。医療機関の消費税損税問題が法廷で争われることで、これまでの問題が放置してきた国の責任が明確になることには意義があると思う。

しかし4医療法人は、今のままで消費税率が上がれば病院経営が立ち行かなくなるので何とかしてほしいという、消費税増税を前提とした立場だ。協会は患者さんの立場も考慮し、あくまで消費税増税に反対し、医療をはじめとする生活必需品にはゼロ税率の適用を求めている。

消費税の増税を中止し、医療をはじめとする生活必需品へのゼロ税率適用を求める署名運動にご協力いただきたい。」と発言した。

新春講演会

基地はいらない。どこにも —普天間基地問題と私たち—

今夏、当協会の平和ツアーで訪沖した折、仲里先生たちと懇談する機会をいただきました。一献傾けながら、先生は親戚がひめゆり部隊の犠牲者であることなどにも触れられ、戦争の酷薄さと沖縄の現状について熱く語っていただきました。泡盛とともに五臓六腑にしみわたった話でした。

普天間基地移設をめぐる、民主党政権は名護市の辺野古に固執する姿勢です。その論拠とされる米軍基地の「抑止力」とは何なのか、また、沖縄に基地を押し付ける「日米安保」とは何なのか。ともに沖縄と日本の平和を考える上で根源的な問題です。

長年地元の医師として県民の健康を守るとともに、平和運動でも奮闘されておられる先生に、基地・平和・医療を縦横に語っていただきます。私たちも、ともに沖縄の問題を考える絶好の機会だと思います。ぜひ、ご参加ください。

【兵庫県保険医協会副理事長 加藤一記】

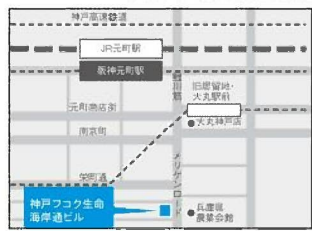
●日時 : 2011年1月22日(土) 16時30分～(16時開場)

●講師 : 沖縄県保険医協会会長 **仲里 尚実** 先生



●参加費 : 無料 どなたでもご参加いただけます

●会場 : 兵庫県保険医協会 5階会議室



○兵庫県神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5階

○JR・阪神元町駅下車、東口を出て南へまっすぐ徒歩7分。ビルの1階は、美容室 EARTH 等)

○当ビルには駐車場はございませんので、近くの有料駐車場をご利用ください。

●主催 : 九条の会兵庫県医師の会/核戦争を防止する兵庫県医師の会/兵庫県保険医協会/兵庫県民主医療機関連合会/九条の会・医療者の会(全国)

参加申し込み FAX 078-393-1802

氏名 () 参加人数 () 人

医療機関・団体名 () ご連絡先 ()

お申し込み、お問い合わせは兵庫県保険医協会 (Tel. 078-393-1807 / E-mail: hirata-t@doc-net.or.jp) 平田まで